教 育 委 員 会 会 議 録

（ 定 例 会 ）

令和８年８月２７日開催

さいたま市教育委員会

1	期日	令和８年８月２７日（木）	
2	場所	教育委員会室	
3	開会	午後２時００分	
4	出席委員	教育長	竹居秀子
		教育長職務代理者	大谷幸男
		委員	石田有世
		委員	伊藤華英
		委員	小山和也
		委員	堀田香織
5	議場に出席した者	副教育長	大砂武博
		教育委員会事務局理事兼管理部長	山本高弘
		学校教育部長	丹能成
		生涯学習部長	深津健太郎
		管理部参事兼学校施設整備課長	田嶋真二
		学校教育部参事兼総合教育相談室長	日比瑞輝
		学校教育部参事兼高校教育課長	大原照光
		生涯学習部参事文化財保護課長	金子洋幸
		教育総務課長	河下勝昭
		教育財務課長	清川亘
		教職員人事課長	橋本大輔
		教育研究所長	紺野雅弘
		浦和高等学校長	齋藤潤
		浦和南高等学校長	相坂賢将
		大宮北高等学校長	関田晃
		大宮国際中等教育学校長	根岸君和
6	会議録署名委員	堀田香織	

7　議事等の概要

竹居教育長　　それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。

書記　　１名おります。

竹居教育長　　本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　それでは、傍聴を許可します。
本日の会議録の署名委員は、堀田委員にお願いいたします。
本日の議案については、報告第２８号、３１号から３６号、議案第５０号は人事に関する案件であることから、非公開とすることをお諮りしたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、報告第２８号、３１号から３６号、議案第５０号を非公開といたします。
会議の順番ですが、報告第２９号、３０号、３７号、議案第５１号、５２号、続いて非公開となる報告第２８号、３１号から３６号、議案第５０号の順番で審議することといたします。

報告第２９号　令和７年度さいたま市一般会計歳入歳出決算（教育費）について

竹居教育長　　それでは、報告第２９号につきまして、事務局から説明をお願いします。

教育財務課長　　報告第２９号「令和７年度さいたま市一般会計歳入歳出決算（教育費）について」を御説明します。
２ページをお願いします。この表が、教育委員会に係る令和７年度歳入・歳出決算の状況となっております。
なお、決算額等を読み上げる際は、千円未満を切り上げ、千円単位としますので御了承ください。
まず、上段 ＜歳入＞ の表の一番下の行「局合計」の欄を御覧ください。教育委員会全体で当初予算額が２２９億２，９５７万４千円、それに隣の補正予算額とその隣の前年度からの繰越事業の財源であ

る、繰越財源充当額を加えた、最終の予算現額は２３６億９，０６９万２千円となりました。

予算額が見込に基づき積算した金額であるのに対し、実際に収入すべきものとして決定した額、これを調定額と呼んでおりますが、調定額は教育委員会全体で２３７億９，７２２万８千円、そのうち実際に納入された金額「収入済額」が網掛けとなっている２３２億９，９９５万円です。この収入済額がいわゆる教育委員会の歳入の決算額となります。令和６年度と比較しますと、約１２億円の増額となっております。

歳入の中で一番収入済額が大きいのは表の上から３行目「１８款国庫支出金」で決算額の約７４％、収入済額は１７１億７，７０６万８千円となりました。また、学校給食費の公会計化に伴い、令和６年度より各学校で徴収管理されていた学校給食費を市の歳入歳出予算としたことで、「２０款　財産収入」が決算額の約２３％、収入済額は５３億３，０７８万１千円となりました。

続きまして、右から２番目の列の不納欠損額ですが、これはすでに調定した歳入が、督促等を行ったにも関わらず納付されずに時効が到来してしまった場合や、法令等に基づいて債務を免除した場合などについて、損失として処分を行った額をいい、令和７年度は発生していません。

続きまして、一番右側の列が収入すべき金額として調定を行ったものの、年度内に収入できなかった金額、これを収入未済額と言いますが、教育委員会全体で４億９，７６６万円生じております。収入未済額のうち約８０％を占めているのは「１８款　国庫支出金」ですが、これは国の補助事業が年度内に完了しなかったことに伴い、国庫補助金を繰越処理したもので、事業の進捗に合わせ、翌年度以降に収入される予定です。

次に歳出について説明申し上げます。ページの中ほど、＜歳出＞の表を御覧ください。こちらが職員人件費を除く教育費全体の決算状況となります。９月定例会において市長から市議会に提出される、さいたま市行政報告書の各局の決算概要が、職員人件費を除く形で作成されるため、同様の形で報告するものでございます。

令和７年度の当初予算額は、５１８億９，７３０万２千円であり、それに補正予算額、前年度からの繰越額、そして、流・充用額を加えた左から５つ目にあります５４３億９，１６３万９千円が最終予算現額となりました。

予算現額に対しまして実際に支出した支出済額の合計は、網掛けをしている右から３つ目の欄、４８５億６，８０６万６千円となっており、この支出済額が、教育委員会の人件費を除く令和７年度の歳出

の決算額となります。この令和７年度歳出決算額につきましては、こちらには記載はありませんが、前年度との比較で約３１億円の増額となりました。

主な増減理由です。まず増加理由としては、大和田小学校建設等により約４６億円、給食の食材費の物価高支援額の増等により約８億円の増額となりました。

減少理由としては、老朽化した小学校施設の改修の終了等により約２３億円の減額となりました。

支出済額に対しまして、翌年度繰越額３５億４，６８４万３千円を除いた一番右側の数値２２億７，６７３万１千円が令和７年度予算に対して生じた不用額ということになります。

続きまして、３ページをお願いします。

令和７年度決算につきましては、９月定例会に決算書等を提出し議会の認定に付されることとなりますが、制度上事前に監査委員の審査を受ける必要があり、本年７月に監査事務局におきまして、決算審査が実施されました。今回の決算審査において、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の整備、学びの多様化学校の設置準備、小学校 35 人学級教室整備事業の３事業を、令和７年度の主な事業として資料を提出いたしましたので、この３事業について提出した資料を用いて、御説明します。

まず、このページが学校施設整備課所管の「武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の整備」となります。

調書の上段「１　事業の概要」でございます。本事業は、学校規模による課題の解消とともに、教育の質の向上を図るため、武蔵浦和駅周辺地区の小学校の過大規模校・中学校の大規模校の解消に向けて、沼影小学校と沼影公園の敷地を一体的に活用して義務教育学校を整備するものでございます。

次に中段「２　事業の実施状況等」でございます。令和７年度は、内谷校舎の整備に向けて、内谷校舎改修基本計画策定業務を行うほか、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校整備に伴う校庭整備実施設計業務を行いました。また、浦和大里小学校に整備した屋内プールは令和７年８月に供用開始し、プール改築工事に伴う近隣家屋地盤変動影響事後調査業務を行うとともに、沼影校舎の建設工事については、令和７年度の２回目の入札不調を受けて、事業者への聞取りや庁内での検討を重ね、見積活用方式及び入札時ＶＥ方式を採用するなど、入札不調対策を検討した状況でございます。

主な事業費内訳は、内谷校舎改修基本計画策定業務１，０１２万円、浦和大里小学校屋内プール整備に伴う地盤変動影響事後調査業務３６５万２千円、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校整備に伴う校

庭整備実施設計業務７８９万４千円、浦和大里小学校プール賃借料１億９，０３２万７千円でございます。

下段「３　歳出予算執行状況」でございます。令和７年度最終予算現額（A）の合計２億４，１７４万９千円に対し、支出済額（B）の合計は、２億１，２８６万８千円、不用額（D）の合計は７０８万２千円、執行率は８８．１％となりました。

次に資料の４ページを御覧ください。総合教育相談室所管の「「学びの多様化学校」の設置準備」でございます。

調書の上段「１　事業の概要」でございます。本事業は不登校等児童生徒を対象とした、時間的・空間的な制限を超えた多様な学びができる学びの多様化学校の開校に向け、先端技術を活用した活動や、リアルな交流会等の体験活動の充実に努めるとともに、不登校等児童生徒一人ひとりの実態に配慮した特別な教育課程の編成を行うものでございます。

次に中段「２　事業の実施状況等」でございます。令和７年度は、施設面では、さいたま市立教育研究所の地下１階及び岸町教育相談室を、いろどり学園本校及びキャンパスとして使用するために、スロープの設置や多目的トイレの整備などの用途変更工事を行いました。また、備品や消耗品については、本校及び市内６か所のキャンパスにおいて、教職員が使用する事務机や金庫等の什器類や保健室の備品、並びに児童生徒が使用する机や各教科用の教材等の消耗品など、学校運営上必要な最低限のものに加え、児童生徒の交流体験活動に係る資機材として室内運動システム等を整備した状況でございます。

主な事業費内訳は、学びの多様化学校消耗品７５０万９千円、本校施設用途変更工事４，４２４万２千円、学びの多様化学校備品購入費１，４００万８千円、学びの多様化学校インターネット回線整備費等１，１６８万９千円でございます。

下段「３　歳出予算執行状況」でございます。令和７年度最終予算現額（A）の合計９，８１３万７千円に対し、支出済額（B）の合計は、８，２９１万５千円、不用額（D）の合計は、１，５２２万３千円で、執行率は８４．５％となりました。

次に５ページを御覧ください。主な事業の３番目、学校施設管理課外３課所管の「小学校３５人学級教室整備事業」でございます。

調書の上段「１　事業の概要」でございます。本事業は、令和２年度に改正された公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律に基づき、公立小学校において段階的に３５人学級を実現するもので、令和７年度に完了しました。３５人学級の実施及び児童生徒数の増加に伴い、現状の学校施設では対応困難な小学校

について、仮設校舎の賃貸借及び既存教室の改修を実施し、普通教室を確保するとともに必要な物品を購入するものでございます。

次に中段「２　事業の実施状況等」でございます。令和７年度は、市立小学校における３５人学級の実施に伴い、増加する学級数に対応するため、教室改修を実施するとともに、仮設校舎の賃借による教室の確保を行いました。あわせて、対象校に対し必要な物品等の購入を行い、学校教育環境の整備を推進したものでございます。

主な事業費内訳は、学級増等に伴う教室改修等修繕１億６，０４１万１千円、学級増等に伴う消耗品１，８８９万３千円、仮設校舎賃貸借６億５４４万１千円でございます。

下段「３　歳出予算執行状況」でございます。令和７年度の最終予算現額（A）の合計９億３７１万２千円に対し、支出済額（B）の合計は８億３，９６５万円、不用額（D）の合計は６，４０６万３千円で、執行率は９２．９％となりました。

説明は以上です。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　次回で結構ですので、給食の公会計化に伴う経済効果や苦労について御報告ください。

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校については、いずれ整備する以上、今修繕をすると二重工事になってしまいもったいないという考えがあると思います。しかし整備が後ろ倒しになっていることで、修繕されないまま子どもたちが我慢するという状態になってしまいます。このあたりの御検討をいただきたいと思います。

管理部長　　武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の開校が後ろ倒しになったことで、沼影小学校については修繕をする方向で改めて見直しており、トイレの洋式化等も進めていくよう検討しております。

小山委員　　２ページの一般会計について、収入済額と支出済額が乖離していますが、この差額はどうなっているのでしょうか。

教育財務課長　　歳入として地方債等もあるのですが、それは財政局所管となっております。この資料の歳入は教育委員会事務局分のみを切り出しておりますので、収支差が出てしまっております。

小山委員　　分かりました。ただ、市全体の歳入が分からないと、教育委員として意見もしづらいですね。

竹居教育長　　説明の工夫が必要ですね。

石田委員　　３５人学級の仮設校舎についてですが、この資料に記載のある学校以外にも仮設校舎が建っている学校がありませんでしたか。また、仮設校舎には何クラスくらい入るのでしょうか。

学校施設整備課長　　この資料に記載のある学校以外にも、仮設校舎が建っている学校はたくさんありますが、そちらはリフレッシュ工事のためのものとなっております。また、児童生徒が全員入る規模の仮設校舎を建てております。

石田委員　　指扇北小学校はなぜ２棟なのでしょうか。

学校施設整備課長　　普通教室の棟のほかに、給食室が入る棟を整備しております。

竹居教育長　　それでは、この件は終了といたします。

報告第３０号　令和８年度さいたま市一般会計補正予算（教育費）について

竹居教育長　　続いて、報告第３０号につきまして、事務局から説明をお願いします。

教育財務課長　　報告第３０号「令和８年度さいたま市一般会計補正予算（教育費）について」を御説明いたします。別冊３を御覧ください。

資料の３ページをお願いします。

この報告の内容は、令和８年さいたま市議会９月定例会に提出した、令和８年度さいたま市一般会計補正予算（教育費）になります。緊急に処理する必要があり、教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、臨時代理したものでございます。

１１ページをお願いします。

提案理由でございますが、国の高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金を活用し、市立中等教育学校のデジタル・理数分野でのＩＣＴを使った探究的・文理横断的・実践的な学びを強化することを目的として、ＩＣＴ機器等の整備に要する経費、令和７年１２月から令和８年３月末までにおける、クラウドファンディング型ふるさと納税で受入した寄附金により余剰となった事業の一般財源を、文化

財保存活用基金に積み立てるための経費について、市長に申出するものです。

資料の６ページをお願いします。

第１表「歳入歳出予算補正」でございます。まず上の表、「歳入」につきましては、右から２つ目、補正額の列を御覧ください。一番下の行、歳入合計１，０００万円の増額補正となります。「歳出」につきましては、１，１５１万６千円の増額補正となります。

８、９ページの「歳入歳出補正予算事項別明細書」について、１４ページの「事務事業概要」で詳細を説明させていただきます。

上段、高校教育課所管の「特色ある学校づくり事業（高校教育課）」でございます。今回の補正予算案は、国の高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金を活用し、市立中等教育学校のデジタル・理数分野でのＩＣＴを使った探究的・文理横断的・実践的な学びを強化することを目的として、ＩＣＴ機器等の整備に要する経費について、補正を行うものでございます。補正額は１，０００万円でございます。

下段、文化財保護課所管の「文化財保存活用基金積立金」でございますが、令和７年１２月から令和８年３月末までにおける、クラウドファンディング型ふるさと納税で受入した寄附金により余剰となった事業の一般財源を、文化財保存活用基金に積み立てるための経費について、補正を行うものです。補正額が１５１万６千円となります。

私からの説明は以上です。

竹居教育長　　何かありますか。

それでは、この件は終了といたします。

ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

報告第３７号　財産の取得について（教職員用端末）

竹居教育長　　再開します。それでは、報告第３７号につきまして、事務局から説明をお願いします。

教育研究所長　　報告第３７号「財産の取得について（教職員用端末）」を御説明いたします。

議案書は、６ページから８ページまででございます。

この報告の内容は、令和８年さいたま市議会９月定例会に提出した、財産の取得について（教職員用端末）になります。緊急に処理す

る必要があり、教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、臨時代理したものでございます。
８ページを御覧ください。
提案理由でございますが、現行の教職員用端末の賃貸借期間満了に伴い、新たに教職員用端末を取得するにあたり、令和８年９月定例会において議会の議決を得るため、市長に申し出するものです。
契約金額は、１２億７８０万円であり、契約の相手方は、株式会社内田洋行　営業支援統括グループとなります。
説明は以上です。

竹居教育長　　何かありますか。

堀田委員　　何の端末を購入するのですか。

教育研究所長　　Lenovo 製の端末を購入予定です。

小山委員　　学校訪問した際、生徒用端末の修理中、２人で１台を使っている話をよく聞きます。生徒用端末には別の予算があるということですよね。

教育研究所長　　児童生徒用の端末について、昨年度までは Windows 端末だったのですが、今年度から全て iPad に切り替えました。かなり丈夫なものになっており、昨年度までと比較すると端末の故障率は下がっております。

竹居教育長　　それでは、この件は終了といたします。

議案第５１号　令和９年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について

竹居教育長　　続いて、議案第５１号について、事務局から説明をお願いします。

教職員人事課長　　議案第５１号「令和９年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について」を御説明いたします。
人事異動方針につきましては、これまで委員の皆様から御意見をいただきながら、本市の現状を踏まえ、整理してまいりました。今年度も、引き続き教育委員会が全市的な視野等から異動が適切と考えれば、異動させることを念頭に置き、適切に実施してまいりたいと考えております。

リード文でございますが、昨年度同様「第２期さいたま市教育振興基本計画」の具現化を目指すこと、児童生徒が生き生きと学校生活を送り、学校教育に対する市民の期待に応えることを明記しました。

リード文に続き、具体の方針が６項目ございます。

１項目目でございますが、人事の一番の基本である各学校の気風の刷新と組織の充実と活性化をあげ、各学校の課題解決や校長の経営理念の実現に向け、教育委員会の権限で適材を適時に適所に配置するという方針でございます。

２項目目でございますが、教職員組織に学校間格差が生じないよう、全市的な視野で、各学校の課題に応じた人事異動を行い、教育の機会均等を図るという方針でございます。

３項目目でございますが、各学校の教職員構成の適正化に配慮するために、例えば、一度に多数の教員が異動して、その学校の教育活動の継続性が保たれない、あるいは、よき伝統が継承されないなどということがないよう、長期的な展望をもち、各学校の特色や教職員の職務経験等を考慮し、計画的に異動を行うという方針でございます。

４項目目でございますが、校種間の人事異動について、小・中・高等・中等教育・特別支援学校の特色を相互に理解し、専門性や系統性を踏まえた教育の充実を図ることで、１２年間の学びの連続性を強化するため、より積極的に推進するという方針でございます。

５項目目は、人事交流、県との人事異動に関する方針でございます。令和９年度も、国立大学法人埼玉大学附属学校、東京学芸大学附属学校、川口市立高等学校、川越市立川越高等学校との人事交流を実施いたします。また、埼玉県内の市町村立学校及び県立学校との人事異動を実施いたします。これらについては、関係機関と協議の上、実施をいたします。

６項目目でございますが、自然体験活動の充実を図るため、令和９年度当初人事異動に合わせて、適材を公募により舘岩少年自然の家に配置いたします。

説明は以上となります。御審議よろしくお願い申し上げます。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　１点目、着任して３年間は異動させないという決まりはありますか。私としては、必要があれば教育委員会の権限において、１、２年で異動させることもあって然るべきだと思っております。

２点目、１校目５年、２校目７年、３校目１０年という決まりは現在もありますか。また、それについてどのように評価していますか。

３点目、人事交流の件ですが、県立や国立の学校に異動すると給料は下がりますよね。どのように調整しているのでしょうか。

教職員人事課長　１点目ですが、原則、同一校に３年以上いる者を異動対象者としております。ただ、校内の事情や教職員本人の事情を考慮して、必要に応じて異動を行っているところです。

２点目については、御指摘のとおりです。評価については、定年延長を考慮して総合的に判断しなければならないと思っております。長い在籍により腰を据えることができるという考えがある一方で、異動したいという教職員の声も耳に届いておりますので、引き続き分析をしていきたいと思っております。

３点目、給与面についてですが、特段の調整は行っておりません。人事交流でしか得られない経験はございまして、その教職員のキャリアにとって有効に働くと考えております。本市に戻ってきてからも、リーダー的な立場として成果を活かしていただいておりますので、総合的にはお金に代えられないものであると考えております。

大谷委員　６０歳以降の勤務はどのようになるのでしょうか。

教職員人事課長　役職定年ではなく、定年が延長しておりますので、１０年以内の異動という考えに変わりはありません。

小山委員　令和９年度の人事異動の方針とのことですが、今年度のものから変更した部分はあるのでしょうか。

教職員人事課長　令和８年度と令和９年度で変更はございません。

伊藤委員　２項目目と４項目目で、どちらにも「積極的に」という文言がありますが、この２つの違いを教えてください。

教職員人事課長　２項目目についてはエリア的な異動を意味しており、４項目目については校種間での異動を意味しております。

竹居教育長　それでは議案第５１号につきましては、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員　＜異議なし＞

竹居教育長　　出席委員全員の賛成により、議案第５１号は原案のとおり可決されました。

ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第５２号　令和９年度使用さいたま市立各高等学校及び中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について

竹居教育長　　再開します。それでは、議案第５２号について、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長　　議案第５２号「令和９年度使用さいたま市立高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について」を御説明いたします。

まず、提案理由でございます。資料２の２ページ「（１）教科用図書の定義」、「（２）教科書の使用義務」にありますとおり、高等学校及び中等教育学校の後期課程の教育課程に位置づけられる各教科・科目の教授においては、教科用図書の使用が義務付けられております。各校の教育課程につきましては資料１に、１９ページから浦和高等学校、３９ページから浦和南高等学校、６１ページから大宮北高等学校、８７ページから大宮国際中等教育学校後期課程のとおり掲載しております。各学校の特色に応じた教育課程を編成しております。高等学校及び中等教育学校の４校が使用する教科書につきましては、教科書の採択権者である教育委員会が、年度ごと、学校ごとに教科書を採択することとなっておりますことから、議案として提出するものです。この採択に係る関係法令は、お手元の資料２の２ページ「（４）採択の権限」、「（５）採択について」のとおりでございます。

議案提出に至る、本日までの流れを御説明いたします。

資料２の３ページ「２　さいたま市立高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書採択の仕組みとスケジュール」を御覧ください。４校では、５月から７月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会を設置いたしまして、調査・研究を綿密に実施し、各校の特色や生徒の実態に即した教科書を選定いたしました。選定の詳細につきましては、資料１の１ページからが浦和高等学校、２２ページから浦和南高等学校、４５ページから大宮北高等学校、６７ページから大宮国際中等教育学校後期課程となっております。

採択に向けましての説明を、この後、４校の校長からしていただきます。説明の順番につきましては、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮国際中等教育学校の順でよろしいでしょうか。

竹居教育長　　はい、結構です。それでは、学校ごとに採決を行いたいと思います。まず、浦和高等学校長から説明をお願いします。

浦和高等学校長　　資料１の１ページから２１ページまでが、本校の資料となります。

はじめに、２ページの「令和９年度使用教科書選定方針」を御覧ください。本校の教育理念や教育目標の実現に向け、生徒一人一人の能力や個性の伸長を図り、高い進学希望を叶える教育課程を編成して授業を展開しており、選定方針の作成に当たりましては、大学受験の実力養成と探究活動をとおした深い学びを強く意識し、本校生徒の学習に相応しい教科書を選ぶという視点で進めてまいりました。

次に、３ページから６ページまでが「令和９年度使用教科書一覧表」、７ページから１６ページが「令和９年度使用教科書選定理由書」になります。令和４年度に刷新された１年生用の教科書について３年間が経過し、多くが改訂版として発行されており、特に令和９年度用の教科書については、２年生用のものが多くなっております。

このような状況の中、新規に選定した教科書について説明いたします。令和９年度新たに入学する１年次で使用する教科書が、早期購入の数学Ⅱ、英語コミュニケーションⅡの２冊です。これは内進生、高入生ともに購入いたします。

令和８年度入学の現１年生が来年度２年次に使用する教科書が、論理国語、古典探究、これは古文・漢文に分かれます、日本史探求、世界史探究、数学Ｂ、数学Ｃ、物理、生物、美術Ⅱ、書道Ⅱ、論理・表現Ⅱの１２冊、令和７年度入学の現２年生が来年度３年次に使用する教科書が文学国語、地理探究、倫理、政治・経済の４冊となります。以上のとおり、合計１８冊が新規ということになりますが、全てが従前の教科書の改訂版に移行したものであり、教科書会社を変更するということはございませんでした。それ以外の教科書は全て継続使用とし、１年は１６冊、２年は２０冊、３年は１３冊、合計４９冊の教科書の使用を考えております。

続きまして、選定の手続きを御説明いたします。１７ページの「令和９年度使用教科書選定概要報告書」を御覧ください。新学習指導要領に則った上で、「１　学校教育目標」及び「２　目指す学校像」を踏まえ、教科書選定委員会を組織し、選定を進めてまいりました。選定委員に教科書等の執筆に関わった教員はおりません。

１８ページ「４　選定の経過」にありますように、教科書選定の方針を職員会議で校長から全教職員に周知し、各教科から提出された選定案及び選定理由を確認し、校長決裁を経て、議案書の通り提出させていただいたところです。

決裁に当たりましては、市立浦和の校長として、冒頭に申しあげた方針に基づき、本校生徒の学力向上に役立ち、大学入試にも対応できるもの、特に本校にふさわしい高いレベルの学習活動に適しているかどうかを重視し、判断いたしました。

なお、新教育課程の年次進行に伴い、本校では高校入学生のみ文理選択としていたものを内部進学生にも総合系ⅠとⅡとして導入し、生徒の大学受験のニーズに応じた科目選択が幅広くできるようにしております。本校では生徒同士の学び合いを深めるため、内進生、高入生の別なく、全て同じ教科書を選定することを基本方針としておりますが、内進生は授業の進度を早め、より発展的な学習に十分に時間が割けるような人的配慮を行っております。例えば数学では高校１年の内進生を２クラス３展開できめ細かく授業したり、高校３年の内進生では習熟度で担当を分けたりするなどの取組をしております。英語でも内進生は理解が早く、人間関係も構築されていることから、ペアワークや探究的な学びを積極的に行い、アウトプットを意識した授業を展開しております。

今年度の大学入試では、東京大学４名を含む１１７名が現役で国公立大学に合格することができました。東京大学４名の内訳は、内進生と高入生が２名ずつです。互いに内進生高入生が切磋琢磨することで確実に進学実績が伸びてきております。今後も、一番行きたい大学に行くという進路目標をかなえるために採択した教科書を最大限に活用し、日々の授業を大切に行っていきたいと考えております。

説明は以上です。採択に向けた御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　内進生と高入生が同一の教科書を使用するとのことですが、それぞれの進度を具体的に教えてください。また、総合系ⅠとⅡについても詳しく教えてください。

浦和高等学校長　　数学を例にお答えいたします。内進生の場合、中学２年生時点で中学校３年間分が全て終了しています。中学３年生になると、高校１年生用の教科書を早期購入し、数学Ⅰ及び数学Ａの授業を開始します。そして高校２年生時点で高校３年間分が全て終了します。

高入生の場合、高校１年生からスタートではありますが、スピードを早めており、高校３年生の夏までに３年間分が終了するよう勧めております。ただ、内進生と高入生を比較すると９０ページ分の差がありますので、内進生については発展的な問題演習の時間を多くとっているという状況です。

内進生は英語も同様、中学校３年生時点で高校１年生用の教科書を早期購入して進めております。

内進生の高校１年生、高校２年生に位置付けている総合系についてですが、総合系Ⅰが文系、総合系２が理系です。ただ、完全に文系理系で分かれているというよりは、少しだけ選択科目で文系が多く取れる、もしくは理系が多く取れる、というものになっております。

石田委員　　改訂版に移行したものであり、教科書会社は変更していないとのことでしたが、どのような改訂がなされたのでしょうか。

浦和高等学校長　　内容の改訂というよりは、図や表が非常に増えたというものです。また、二次元コード等も多く入っております。

本校では文学国語のみ教科書を変えているのですが、これは私立文系の大学を目指す高校３年生が選択するもので、１、２年生で使用した第一学習社の教科書には載っていない文章を多く読ませるという意図があります。

堀田委員　　探求を重視しているというお話がありましたが、具体的な教科書を挙げて、どのように探求を深めているのか教えてください。

浦和高等学校長　　家庭科を例に挙げます。科学的な内容や保健体育的な内容など全て網羅しています。さらにＳＤＧｓを含めた探求的な内容も含んでいるものです。教科書も「大人になるとはどういうことだろう？」など、問いかけから始まるつくりになっており、一方的に答えを押し付けるものではありません。問いを投げかけ皆で考えるという探求的な学習をしていくことができます。

小山委員　　昔と比べ、教科がかなり細分化されましたよね。大学受験においても細分化した科目で受験するという話を伺いましたが、受験のために細分化された教科書ができてきたということなのでしょうか。それとも教育方針によって細分化され、それに合わせて大学受験が変わっていったのでしょうか。どちらが先なのでしょうか。

浦和高等学校長　　令和４年度からの新学習指導要領により細分化されました。それに合わせて大学受験も変わっていったものと思われます。

小山委員　　教科書に載っている文学作品について、何を目的としているかが重要だと思うのですが、そのあたりは選定委員会で議論がなされるのでしょうか。また、現代国語と文学国語の違いは何でしょうか。

浦和高等学校長　　高校１年生における現代文が現代の国語、古文漢文が言語文化というものです。高校２年生における現代文が論理国語で、高校２年生から３年生の古文漢文が古典探求となります。さらに私立文系の高校３年生が文学国語となりますが、これはいわゆる有名な作品、山月記や舞姫、心などが入っています。

小山委員　　若者の活字離れが問題になっており、文部科学省としては有名な作品を教えなければならないと考えている、というような記事を新聞で見ましたが、そのような議論はなされているのでしょうか。

浦和高等学校長　　今年で新学習指導要領の５年目となりますが、今の指導要領では、現代の国語と論理国語のように、評論文を如何に短い時間で要旨を捉えるかということが重視されており、ビジネス国語のような部分もありました。

ただ、それの反動も出てきており、国語では文学作品を扱うべきだという議論もあるため、次期学習指導要領でどのようなかたちになるのか、我々も注視しているところでございます。

竹居教育長　　それでは、浦和高等学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　ありがとうございます。

続いて、浦和南高等学校の説明をお願いします。

浦和南高等学校長　　資料１の２２ページから４４ページが、本校の資料でございます。

はじめに、２３ページの「令和９年度使用教科書選定方針」を御覧ください。本校の学校教育目標の達成に向け、確かな学力の定着や大学進学のための実力錬成のために記述や資料などが生徒に理解しやすいものであるとともに、導入や題材、論の工夫がなされ、効果的な内容になっていることを重視し、本校の生徒の学習に相応しい教科書を選定する視点で取り組みました。

２４ページから２５ページまでが「令和９年度使用教科書選定一覧表」、２６ページから３６ページまでが「令和９年度使用教科書選定理由書」でございます。新規教科書を２１冊、継続で２３冊の教科書を選定いたしました。

３７ページの「使用教科書選定概要報告書」を御覧ください。教科書選定委員会を組織し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。教科書選定委員会に教科書等の執筆に係る教員はおりません。

新規に選定いたしました２１科目のうち、現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究古文編、古典探究漢文編、文学国語、世界史探究、日本史探究、数学Ⅰ、数学A、物理基礎、物理、化学基礎、生物基礎、生物、地学基礎、保健体育、専門教科家庭フードデザインの１８科目は、改訂版となったため新規となりましたが、教科書会社は変更しておりません。

新規に選定いたしました３科目、歴史総合、英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰを例に御説明いたします。

まず、歴史総合につきましては、２８ページの１段目を御覧ください。１３点の教科書の中から帝国書院の「明解　歴史総合」を選定しております。１年次生全員が使用することになります。今年度まで、１年次に山川出版社の「歴史総合」を使用していますが、令和９年度から、１年次に帝国書院の「明解　歴史総合」を新規に使用することにより、見開きの２ページが１時間の分量で、地図・写真・図表等が多用されており、統一されたレイアウトで配置されているため、生徒の自主学習にも活用しやすく、迷わずに取り組むことができるものを、新規に選定しました。

次に英語コミュニケーションⅠにつきましては、３４ページ３段目を御覧ください。２５点の教科書の中から啓林館「Revised ELEMENT English CommunicationⅠ」を選定いたしました。１年次生全員が使用いたします。今年度まで、１年次に桐原書店の「英語コミュニケーションⅠ」を使用していますが、令和９年度から、１年次に啓林館の「Revised ELEMENT English CommunicationⅠ」を新規に使用することにより、各レッスンにおいて多様な題材が選定されており、生徒の興味関心に応じた発展的な活動が設定されている、さらに、イラスト・地図・写真・図表等が多用されており、視覚情報を読み取る力と英文への理解力を相互に高めることができるため、レベルを上げた教科書を新規に選定しました。

次に論理・表現Ⅰにつきましては、３４ページ４段目を御覧ください。１８点の教科書の中からの桐原書店「FACTBOOK English Logic and ExpressionⅠNew Edition」を選定いたしました。１年次生全員が使用いたします。今年度まで、１年次に啓林館の「論理・表現Ⅰ」を使用していますが、令和９年度から、１年次に桐原書店の「FACTBOOK English Logic and ExpressionⅠNew Edition」を新規

に使用することにより、文法知識のインプットからアウトプットへつなげる教科書構成で、４技能の統合的な向上が望めます。言語の使用場面が明確な活動設定により、学んだ言語を活用しながら知識を習得できるため、レベルを上げた教科書を新規に選定しました。

本校では、令和９年度入学者選抜から数学と英語の選択問題導入を決定しました。進学重視型単位制高校として、さらに学力を伸ばして行くことを目標としています。その一環として、令和９年度から１年次生全員が使用する英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰの教科書を、現状よりもレベルを上げた教科書を選定しました。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により提出させていただきました。

採択に向けて御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　浦和南高等学校といえば進学重視型単位制高校ですが、それを踏まえた選定の特色はありますか。

浦和南高等学校長　　本校では、来年度に向けて、全ての教科でレベルを一つ上げた授業の準備をするよう指示をしております。その一環で、数学と英語に選択問題を導入します。教科書においてもレベルを上げており、分量も多いものを選定いたしました。

堀田委員　　数学と英語を重視して、レベルの高い生徒に入学してもらい、レベルの高い授業をするということですね。それを検証しながら進めていくという理解でよろしいでしょうか。難しい教科書を買ってしまったけれどついていけない、というようなことが起きないと良いなと感じました。

浦和南高等学校長　　ありがとうございます。本校でも、御指摘の部分を心配する職員は多数おりますが、なんとか決めてまいりました。来年入学する生徒が卒業するまで、つまり３年間経過しないと検証ができないだろうと思っておりますので、先生方にも、まず３年間頑張るよう準備をしましょうと伝えているところです。

伊藤委員　　歴史総合を山川出版社から帝国書院に変更したとのことですが、こちらもレベルアップの意味合いなのでしょうか。

浦和南高等学校長　　こちらについては、レベルはあまり変わらないのですが、図やイラストが多用されており、非常に見やすいものでしたので、新たに選定いたしました。

石田委員　　生物基礎や生物に継続採用５年目、４年目と記載がありますが、ずっと同じなのでしょうか。

浦和南高等学校長　　同じ教科書会社ではありますが、改訂版を選定しております。

竹居教育長　　それでは、浦和南高等学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　ありがとうございます。
続いて、大宮北高等学校の説明をお願いします。

大宮北高等学校長　　資料１の４５ページから６６ページが、本校の資料です。
まず４６ページを御覧ください。選定方針２にありますように、生徒の「生きる力」を育み、自らの「志」に向かって努力し、生涯にわたって社会に貢献できる人材を育成するため、個々の能力を伸長し、確かな学力の定着を図ることができる教科書であること、また、ほぼ全生徒が大学進学を希望していますので、選定方針３にありますように、大学進学に対応できる効果的な内容となっていることを重視しました。
御案内のとおり本校は、理数科のみならず普通科においてもスーパーサイエンスハイスクールとしての探究活動の基礎となるよう、教科・科目の知識・技能の定着を意図しています。また、普通科ではリベラルアーツの視点を重視し、敢えて２年生での文理選択を行っていません。未来を生き抜く子どもたちに、幅広い分野の教養の修得と、学力の向上を目指してカリキュラムを編成しています。
さて、浦和高校齋藤校長の説明にありましたように、来年度用教科書では、２年生用のものが多く改訂されており、その結果、４７ページから４９ページの選定教科書一覧の４５冊のうち、新規が２６冊、継続が１９冊と、新規がたいへん多くなっています。しかし、新規２６冊のうち１８冊は従前の教科書の改訂版になります。
一方で、新規のうち残る８冊は従前とは異なる教科書を選定しました。その経緯を御説明いたします。本校では各教科とも３年間の系

統的な指導を重視しており、原則として１年生で使用した教科書と同じ教科書会社の上位版を２・３年生で使用することにしています。その結果、来年度は２年生の「古典探究（古文)」「古典探究（漢文)」「書道Ⅱ」「論理・表現Ⅱ」の５冊を、現１年生が使用している教科書会社のものに変更しました。また、３年生の「論理・表現Ⅲ」を、現２年生が使用している教科書会社のものに変更しました。

次に、新規８冊のうち、この５冊を除いた３冊は敢えて変更したものです。その３冊とは「生物基礎」「生物」「家庭基礎」になります。

資料５８ページを御覧ください。例えば家庭基礎につきましては、実教出版から東京書籍に変更しました。従前の実教出版も十分な内容ですが、東京書籍の方が写真や図表が豊富で、生徒が自分の生活と結び付けて考えやすい構成になっていると判断したためです。家庭科で重視したい実践的な学びにつなげやすい点も評価しました。

最後に、資料６０ページを御覧ください。教科書選定委員会を「４選定の経過」のように開催いたしました。職員会議で全教員に選定方針を伝え、各教科会から選定案と選定理由を提案させ、選定理由が実際に各選定教科書の内容と合致し妥当であることを選定委員会で確認し、校長決裁により議案書のとおり提出いたしました。選定委員に教科書執筆に関与した教員はおりません。

採択に向け、御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　普通科と理数科で、教科書は同じですよね。理数科の指導内容にはどのような特徴があるのでしょうか。

大宮北高等学校長　　理数科１クラス、普通科７クラスとなっており、志願状況としては理数科の方が、難易度が高いと言われております。二次志願可能としておりますので、理数科不合格となった生徒が、その後普通科に合格して入学してくることもございます。

御指摘のとおり教科書は同じですが、例えば数学では、１年生時点で普通科より１単位多くありますので、教科書に記載のコラムや、それ以外の教材も積極的に使用しながら、普通科の授業より深堀をしています。また、理科については、観察、実験、実習の回数を増やしております。

全学年全生徒の探究活動としては、学校独自の STEAMS Time を設けております。１、２年生で２単位ずつ、３年生で１単位と、３年間で５単位分、ひたすら自分の課題に従って探求し、発表する資料を作成しています。全員が校内で発表し、優秀者を選抜して、RaiBoC Hall

で全校生徒の前で発表会をします。大学の先生や企業の方もお招きしているものです。そこにつなげるためには、日常の授業での観察、実験、実習が非常に大きいため、理数科には特に時間を割いている状況です。

なお、理数科については１年生の段階から生物基礎に加えて生物を早期購入しています。

竹居教育長　　それでは、大宮北高等学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　ありがとうございます。

続いて、大宮国際中等教育学校の説明をお願いします。

大宮国際中等教育学校長　　資料１の６７ページから９２ページが、本校の資料でございます。

まずは、資料１の６８ページをお開きください。選定方針の２にございますように、国際バカロレア認定校として、また、全生徒が６年一貫教育を受ける中等教育学校として、それにふさわしい探究的で、課題解決型の学習活動を展開し、本校の学校教育目標を達成する一助とするべき教科書であることを重視しております。

そして、今年度より文部科学省から高等学校 DX 加速化推進事業、いわゆる DX ハイスクールに指定されました。特に、本校は情報を中等３年生から前倒しで実施しており、技術分野と連携しながら、先進的で実験的なカリキュラムを編成しております。生成 AI と国際バカロレアによる探究的な学びの推進により、生徒がエージェンシーを発揮し、国際社会で活躍できる力を育んでまいります。

具体的に教科書の選定につきまして、御説明申し上げます。

例えば、情報につきましては、８４ページを御覧ください。情報Ⅰでは、本校の探究活動を支えるための資料や重要用語の資料が充実し、具体的なイメージをもちながら知識の定着を図ることができる東京書籍を選定しました。また、情報Ⅱでは、さらに習熟できるよう工夫され、かつ、多岐にわたる分野の資料に触れられる日本文教出版を選定しました。

最後に、資料１の８５ページをお開きください。教科書選定委員会を組織し、選定いたしました。教科書等の執筆に携わっている教職員は選定委員に任命しておりません。校内で審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただきました。

採択に向け、御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　６年一貫教育を受けるという特徴がありますが、生徒も非常に多様な受験スタイルで進路を実現していますよね。中等教育学校としての特徴をどのように考えながら教科書採択をしたのでしょうか。

大宮国際中等教育学校長　　本校の中心教科として英語が掲げられると思っております。英語の教科書の中で、グラフや統計資料、アンケート結果など、社会に繋がる内容のものを選定しております。高度な情報活用能力が大切ですので、ディプロマ・プログラムや、大学進学後にも必要となるアカデミックな表現力を如何に育てていくかという部分を重視しております。教科書の中に英字新聞やニュースなど、時事性の高い内容を積極的に取り入れているもの、最新の社会情勢や国際的な課題についても考えて探求しアウトプットできるものを選定しているところでございます。

小山委員　　学校教育目標（３）に関連しますが、私が教育を受けていた頃は戦争などの平和教育が盛り込まれていたと思うのですが、今でもそのような教育はあるのでしょうか。

大宮国際中等教育学校　　より良い世界を構築するために、地球の中の一人の人間として貢献・活躍しようとする思考態度を身に付けることを学校教育目標として掲げています。より良い世界とは何かというところをまず議論していきます。また、日本史や世界史を探求する教科もございますが、その時代の資料を基に仮説の設定、検証を進めていきます。

今回、帝国書院の教科書を選定しておりますが、本文の周囲にさまざまな資料が掲載されております。資料からその世界の背景や宗教、文化を読み取っていくことが大事だと考えております。

小山委員　　史実に基づく探求ももちろん大切だと思いますが、昔は、心の襞に触れるような文章や物語が掲載されており、考えさせられた覚えがあります。そのような題材はあるのでしょうか。

大宮国際中等教育学校　　平和という単語でも、それぞれの時代や地域によって概念があるのかと思います。心の襞に触れるような文章というと、なんとも申し上げられない部分ではありますが、子ども達が根拠を持って伝えるということが大切かなと思っております。

小山委員　　今の時代に重要なことかと思いますので、力を入れて進めていってください。

竹居教育長　　それでは、大宮国際中等教育学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　出席委員全員の賛成により、議案第５２号は原案のとおり可決されました。

ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

傍聴の方に申し上げます。先ほど決まりましたとおり、ここからの審議につきましては非公開となりますので、御退室ください。

報告第２８号　さいたま市教育委員会事務局及び教育機関の課長（課長相当職を含む）以上の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

報告第３１号　さいたま市教職員（管理職）の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

報告第３２号　さいたま市教職員（管理職）の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

報告第３３号　さいたま市教職員（管理職）の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

報告第３４号　さいたま市教職員（管理職）の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

報告第３５号　さいたま市教職員（管理職）の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

報告第３６号　さいたま市教職員（管理職）の人事について
＜非公開案件につき内容は省略＞

議案第５０号　令和８年度さいたま市優秀教職員等表彰について
＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

竹居教育長　　以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。
これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

８　閉　　会　　午後４時３５分